

報道関係者各位
プレスリリース

江ノ島電鉄株式会社 / 株式会社 PIJIN

QRコードで9言語対応に
— インバウンドの本格的受け入れ再開に向けて
江ノ島電鉄株式会社が QR Translator を導入 —

江ノ島電鉄株式会社（本社：藤沢市、社長：榎井 進）は、株式会社 PIJIN（本社：東京都千代田区、代表取締役：高岡 謙二、以下「PIJIN」）が開発・運営する多言語表示サービスの QR Translator を用いて、江ノ島・鎌倉地区を訪れた外国人旅行客への案内の充実と迅速化、案内窓口の混雑緩和を目的に、専用アプリ不要の QR コードを活用した案内サービス「ENODEN TRAVEL GUIDE」の運用開始を発表しました。

■ 背景

新型コロナウイルスの水際対策が2022年10月11日から大幅に緩和され、制限はコロナ禍前に近い状態に戻りました。入国者数の上限が撤廃されるとともに、ツアー以外の個人の外国人旅行客も入国が解禁され、日本のインバウンド需要にも活気が戻ってきています。

江ノ島電鉄株式会社は、インバウンド観光再始動に向けて、江ノ島・鎌倉地区において、主に外国人旅行客が訪れた際に戸惑うことが多い、切符の購入方法やバスの乗り方、災害時の避難ルートなどの情報を「ENODEN TRAVEL GUIDE」として、QR Translator を用い、情報をわかりやすくまとめました。駅や車両、バス停にあるポスターやステッカーに印刷した QR コードをスキャンすることで、ユーザー端末の設定言語が認識され、自動的にユーザーの使用言語に合った翻訳文を9言語の中から選択します。係員窓口に並ぶこともなく、必要な情報を効率よく多言語で取得することが可能になります。



ポスター・ステッカー



言語一例 英語、韓国語、ベトナム語

■ 多言語表示サービス「QR Translator」について

QR Translator は、PIJIN が開発・提供している QR コードを使った多言語表示サービスで、ユーザー端末（スマートフォン）の設定言語が自動認識され、自動的にユーザーの使用言語に合った翻訳文を表示・音声読み上げも行います。

利用者にとっては通常の QR コードと同じなので専用アプリは必要なく、サービス提供側にとっては多くの言語で看板や印刷物を個別に制作する必要がなくなります。また、表示される翻訳文に間違いが見つかった場合でも、クラウド上から修正を行えば、QR コードを再印刷することなく、テキストと音声の両方へ自動反映させることが可能です。

※「QR Translator」は株式会社 PIJIN の登録商標です。

※「QR Translator」の仕組みは日本、米国、欧州、中国、韓国等で特許を取得済です。

◇主な機能

- 専用アプリ不要
- 43 言語対応*：1つの QR コードで最大 15 言語までの表示が可能
- 差替え不要：クラウド上で簡単にコンテンツの修正・更新が可能
- 音声読み上げ機能付き：テキスト情報に基づいて機械音声を自動合成。視覚障害がある方々にも情報提供が可能
- データ分析機能：個人情報の取得無しで、QR コードが読み取られた場所や言語をグラフ化

*2022年12月19日時点（最新の対応言語数は機能紹介ページを参照ください）

■ 江ノ島電鉄株式会社について

江ノ島電鉄株式会社は、1902年（明治35年）に藤沢から江ノ島までの鉄道を開業して以来、湘南・鎌倉地域で様々なサービスを提供しています。鉄道事業、自動車事業のほか、マイクロモビリティ事業、レジャー・サービス事業、不動産賃貸事業も営んでいます。同社では、この地域に集う人々に価値ある時間や空間を創造し、よろこびと「やすらぎの心」に満ちた「ゆたかな暮らし」の実現に貢献することを目指しています。

■ 株式会社 PIJIN について

「世界を言語バリアフリーに」を企業理念に、多言語対応ソリューション QR Translator を開発・運営しています。

◇主な受賞実績

- 2016年 東京都世界発信プロジェクト「革新的サービス大賞」
- 2017年 九都県市のきらりと光る産業技術表彰「東京都代表」
- 2018年 ジャパン・レジリエンス・アワード「強靱化大賞」

本社：〒100-0005

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号新丸の内センタービルディング21階

代表者：代表取締役社長 高岡謙二

URL：<https://qrtranslator.com/>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 PIJIN
担当：藤山
press@qrtranslator.com
03-4531-9690